

521金属材料を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	10~11	会社内にて、自身の持ち場のシャーリングで鉄を切ったとき、右第2・第3指を鉄と機械に挟まれた。	51	7	80109	10~ 29
2	2017	12	14~15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け 中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく 右腕が後にもっていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病 院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れて いた。	70	6	11701	1~9
3	2017	12	15~16	工場内でH鋼製品（H200×100、1m）を作業台上で治具を用 いて反転作業中、通常は自分側から奥側に3回で反転させると ころ、手前に1回で反転させようとした。製品が作業台から 落下し、右足人差し指に接触し負傷した。	24	4	11209	10~ 29
4	2017	12	13~14	埠頭内にてトレーラーの荷台に積込作業中、建設機械部品 （6.5m×1.2m×1.5m）を荷台におろした時に部品が倒れ、 荷台横にあったガードレールと部品の間で挟まれ、右大腿 骨・右脛骨・右腓骨を骨折した。	65	5	40301	10~ 29
5	2017	12	7~8	布巾でレジ後ろのサッカー台の拭き掃除をしている際、勢い よく拭いていてサッカー台側面に右手薬指を強打し、第一・ 二関節を骨折した。	52	3	80201	100 ~ 299
6	2017	12	9~10	当社工場内にて、段取り作業中、プレス機にセットしてあっ たコンベアーを移動しようとコンベアーをのせていた台車を 移動した時、コンベアーを安定させる為にのせてあった鉄の	32	4	11502	50~ 99

				塊（重り）が台車から落ち、左足の甲に当たり負傷した（安全靴着用）。				
7	2017	11	15～ 16	工場にて、アルミ板を移動する際に誤ってアルミ板を落としてしまい、アルミ板の角が左足小指に当たり負傷した。	34	4	11209	10～ 29
8	2017	11	9～ 10	機材センターでトラックに積込作業をしている時、導水管が腰に当たり骨折した。	39	4	30199	10～ 29
9	2017	11	9～ 10	15GNショットのターンテーブルから南側のローラーコンベア上にある搬送容器に鋳物（約20kg）を手で持ち運搬していた。その時、手が滑り持っていた鋳物を左足の甲の上に落とし負傷した。	26	4	11002	50～ 99
10	2017	11	16～ 17	仮設材の整備作業をしており、資材を積み重ねている際、持ち上げていた左手が滑り、右手中指を材料で挟み、骨折した。	47	4	30309	30～ 49
11	2017	11	14～ 15	当社工場内において、鉄板の段取り作業中、地面に置いてあった鉄板（400mm×300mm重さ2kg／枚）を30枚程作業台（高さ1m）の上に数枚ずつ置いていたが、板木（幅100mm）の上に置いたため、板木が小さくバランスを崩し、誤って鉄板が崩れ右足親指の付根に当たり負傷したものである。	68	4	11203	1～9
12	2017	11	12～ 13	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、重量900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きであり、ストッパーは付いていなかった。現場巡視及び点検の為の出張（消火器の点検） ※会社パトロール	52	4	30199	100 ～ 299
13	2017	11	8～9	玄関ロータリー内庭園の樹木を1人で剪定中、足場にしていた枝が折れ庭園芝生の上に落下転倒し、右足親指を骨折した。	66	2	10109	100 ～ 299

14	2017	11	15～ 16	帰宅しようと同僚2名の計3名で工場の駐車場に停めてある車まで向かう時に、3台バラバラに駐車していたため、別々に分かれた。駐車場を斜めに横切るようにマイカーまで向かい歩行していたが、辺りが暗く車止めに気付かず足を引っ掛けて転倒し右膝を強打し被災したものである。	27	8	170101	100 ～ 299
15	2017	11	13～ 14	当社敷地内にて、足場部材を車両荷台より降ろしている作業中に、部材（支柱）の間に指を入れて手で持ち上げる動作をした際、バランスを崩して持っていた支柱間に左指を挟めて負傷した。手袋はしており、手元が滑り易い状態でもなく通常下だったが、支柱2ケ（各14kg程度）の間に挟んだ後異常を感じ、同日中に仕事を早退して病院を受診した。	22	3	80409	30～ 49
16	2017	10	11～ 12	機械工場の土間スラブ配筋のため、鉄筋アンカー約600本を道具と足を使い手直しをしていたところ、腰に激痛が走りその痛みで足を滑らせ倒れた。	37	19	30201	1～9
17	2017	10	9～ 10	トラック荷台でケースの積み込み作業中、立て掛けていた中柱が倒れてきて避けきれず右足を負傷した。	62	5	40301	10～ 29
18	2017	10	8～9	被災者は港に停留中のグラブ船を整備するため、90cm×180cm、厚さ5mm、重さ約80kgの鉄板を2人で運搬しようとしていた。立て掛けてあった鉄板を持ち上げて横にする瞬間に強風に煽られ鉄板を落下させ、骨折した。当日は台風の通過した翌日で、瞬間的な強風がたびたび吹いていた。	54	4	30199	100 ～ 299
19	2017	10	16～ 17	作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織	45	8	10805	10～ 29

				を病理検査に出すこととなった。				
20	2017	10	10～ 11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて完全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	7	10901	10～ 29
21	2017	10	15～ 16	工場内にて、加工物を2個台車に乗せようとしていた時、1個を台車に乗せ、もう1個も台車に乗せようとした時手元が狂い加工物を落としてしまい先に台車に乗せた加工物も腕が触れてしまった為落とした加工物の上に落下した。落ちた際受け止め様とした為加工物と床に左手の人差指、中指、薬指を挟み骨折した。	25	4	11301	50～ 99
22	2017	10	15～ 16	鉄鋳物を製造する為、電気溶解炉で溶解作業をしているとき、溶けた溶鉄に鉄缶に入れスチールスクラップを追加投入したところ、スチールスクラップが錆びていたため、溶鉄が飛び散り、顔面と両手を火傷した。	34	11	11002	30～ 49
23	2017	10	8～9	クレーン作業において、製品出荷準備中、製品上にクレーンのハッカーを移動する際にクレーン及びハッカーを見ながら身体を移動し、前向きに走行中、足元を見ていなかった為に、作業通路の鉄板敷板の段差（5～10ミリ）に足が躓き、身体が前のめりになり、準備製品に手を出す形となり、左手を梱包品に出す際、手の平側ではなく甲側でついてしまった為、手首部分を骨折及び脱臼した。	51	3	11209	1～9
24	2017	10	19～ 20	工場駐車場でトラックを降り、出荷プラットへ向かい走っていた際、夜間で周囲の状況が確認しにくい状況で、鉄製の輪止めにつまずき転倒した。左足親指不全骨折となる。	39	2	40301	100 ～ 299

25	2017	10	11~ 12	パネル工程の切断機で、パネル切断が終わった物を両手で持ち上げ、ラックに載せようとした。近くに別物件で切断したパネルが寝かせて置いてあり、左手中指付近が接触し切傷した。	59	8	11209	30~ 49
26	2017	10	11~ 12	足場の解体作業中、地上で資材の荷下げ作業を行っていたところ、目に埃が入り瞬きをした際に手を滑らせ、資材が左足人差し指先に接触、負傷したもの。	22	4	80109	10~ 29
27	2017	9	8~9	第2組立工場ユニットマウント工程にて作業中、フロントサスペンションを両腕で保持して押し上げながらハンガーに吊られた車両に取り付ける際、肩甲骨に痛みが走った。	26	19	11502	1000 ~ 9999
28	2017	9	14~ 15	リフトマンと2人で板パレットを運ぶ時、足元にあったH鋼に気づかず踏んでしまい、そのはずみでH鋼が反転し右足に衝突、右足親指を骨折した。	39	6	11502	100 ~ 299
29	2017	9	15~ 16	工場内で作業中、立ててある平板の奥の板を取ろうとした時に、重みで指がはさまり、はさまった指の上に持ち上げた鉄板が落ちてきて、左手甲を切った。	36	6	11209	1~9
30	2017	9	13~ 14	NC旋盤機内に切粉が絡んだため、右手中指で手前に払って落とそうとしたが取れず、その際、右手中指を切ってしまった。	49	8	170101	100 ~ 299
31	2017	9	18~ 19	当社工場構内に於いて、雨が降りそうな天気予報なので、トラックの荷台に載っている外壁用角浪鉄板の束を降ろそうとしている作業中、トラックの側板を倒して、荷台の上に勢いよく飛び渡ろうとした際、薄暗くなってきていた事もあり、角浪が荷台より少し丈突き出ている事に気付かず、角浪の端部に左足の膝ねんぼの上を激突させてしまい、負傷した。	32	3	30202	10~ 29
32	2017	9	11~	鉄筋コンクリート造地上5階建住宅棟建設現場のB棟3階にて、1階からダメ穴を使い材料上げをしていた、3階にいた被	27	3	30201	10~

			12	災者がダメ穴から下穴を覗き込んだ際、下から上がってきたサポートが左顎に当たってしまった。				29
33	2017	9	13～ 14	上記日時当社の工場にて、運転手の被災者が工場内を移動をしていた時、作業用のクレーンが通過している所に出てしまい、タイミング悪くクレーンのマグネットから落下した鉄くずが左足にあたってしまい負傷したものである。	55	4	11009	1～9
34	2017	9	9～ 10	印刷機を使用する前の機器の洗浄作業中、インキをかき取る為のドクターブレードと呼ばれる刃を拭き掃除していた際、手がすべりその刃で左手人指し指及び同中指を切ってしまった。（耐切創手袋をうっかり着用し忘れてしまったもの。）	22	8	10899	500 ～ 999
35	2017	9	8～9	設備管理室前の道路上で、長さ7m重さ38kgのリップみぞ形鋼を二人で持ち上げ移動中、前方の作業者が後ろ向きで移動した為、足元にあった65A電管につまずき後ろ向きに転倒した。その際持っていたリップみぞ形鋼の先端が股間にあたりケガをした。	66	2	10899	50～ 99
36	2017	8	9～ 10	砕石プラントで、コンベアベルトの修理のためモーターカバーを外す作業をしていたとき、握っていた工具が滑り、モーターを置いてある台座のH鋼で右胸を強打した。	35	3	20201	1～9
37	2017	8	16～ 17	弊社出張所車庫内にて、作業準備のため資材整理を行っていたとき、H鋼ピース（H400、L0.1m、65kg）を抱えて運搬中に、持ち替えようとしたところ保持しきれず、腰高（約0.7m）から右足背部に落下させて受傷した。	49	4	11209	10～ 29
38	2017	8	15～ 16	資材置場でトラックに足場材を積んでいたところ、足場材がトラックから落ちて、左下脇腹に接触した。当日は軽い痛みだけであったため、引き続き作業を行ったが、後日、痛みの他に貧血等の症状がでた。	37	6	30209	1～9
39	2017	8	11～	会社内で荷物（鋼線）を出荷するため、軽トラックの荷台に鋼線束（1束約25kg）を積み込もうと持ち上げた際、腰に痛み	63	19	80101	10～

			12	を覚えた。					29
40	2017	8	9～ 10	ゴンドラの解体作業中、柵を取り外すためにボルトを取り外したところ、柵が床に着いていた左手に落ち負傷した。	55	4	30199	1～9	
41	2017	8	16～ 17	鑄造棟において、溶解された銅合金を柄杓の7合目まで入れたものを持ち、2～3歩歩行したところバランスを崩し、こぼれた銅合金が足にかかり負傷した。	49	11	11302	10～ 29	
42	2017	8	4～5	改良工事において、PCパネルの撤去・設置の作業終了後、レールスクーターに添乗し、線路退出箇所へ移動中、眠気に襲われ、レールスクーター床面から右足を落したため、スラブ版角に接触し、足を骨折した。	40	3	30203	10～ 29	
43	2017	8	9～ 10	置場で足場材等の整理片付けをしている際に、パイプに左人差し指を挟んで負傷した。	46	7	30209	1～9	
44	2017	8	1～2	派遣先において自動車部品の製品を鑄造作業中、製品を金型から取り出した際、半固形だったため、溶けた材料が安全靴の中に入れてしまい、左足を火傷した。	19	11	11502	30～ 49	
45	2017	8	10～ 11	工場内で長さ1400mmのH鋼6本をクレーンにて移動させている時にH鋼を支えていた左手をH鋼に挟んでしまい薬指を骨折したものである。	31	7	11209	1～9	
46	2017	8	16～ 17	プラント設備修理中の設備を回転させる作業に当たって、吊り支点となる鉄骨部材をはわせチュシブロックにて巻き上げた際、支点となる部材がたるみ落下し被災者の後頭部に当たり、はずみにて倒れ前頭部を負傷した。	49	5	30302	1～9	
47	2017	7	9～10	工場内で建築資材を運んでいたところパレットに足が挟まり、バランスを崩して鉄骨（チャンネル）に手をついて鉄骨が倒れ掛かった。避けきれずに左足首の上に鉄骨が倒れて負傷した。	59	6	11301	1～9	
				13SCドライバーのロール交換をし、二人でロールを移動しよ					

48	2017	7	16~17	うとした。選別台から階段を下りて下に運ぶ際、狭いため ロールを仮置きして階段の上下に分かれようとした。その 際、ロールを仮置きした場所が不安定だったためロールが転 がり落ち階段下に降りようとした被災者の右手中指に当た り、骨折した。	26	6	10402	100 ~ 299
49	2017	7	16~17	H鋼の上に置いていた製品の仕上げをするために登ろうとし た。H鋼に手を掛けた時にH鋼のバン木が不安定だったためH 鋼が、たおれ、両足を挟み骨折した。	18	7	11209	1~9
50	2017	7	16~17	派遣先工場内作業場で、被災者が同僚社員と二人で清掃作業 をしているとき、同僚社員がステンレス製の作業台を左手で 持ち上げつつ右手で作業台下の清掃箇所の指示を行っていた ところ、左手から台を取り落としてしまい、台の下で清掃に あたっていた被災者の頭部にぶつかり負傷した。	47	4	170101	50~ 99
51	2017	7	17~18	トランスミッション取り付け時にミッションジャッキ上の ミッションが落下してきたので、とっさに左手で支えたため 左手を負傷。	33	4	11701	1~9
52	2017	7	13~14	仕事先の倉庫で、フォークリフトの長爪を13トン車の荷台に 手で乗せている時に、1人で作業をしたため、荷台が高すぎて 2本目を乗せきれず、左手の薬指、小指を挟み骨折してしまっ た。	56	7	40301	30~ 49
53	2017	7	14~15	当社工場内で、チャンネル鋼（約40kg）の溶接作業中に、 チャンネル鋼の向きを変えるために持ち上げたところ手が 滑ってチャンネル鋼を右足の安全靴のカバーがない部分に チャンネル鋼を落としてしまい、右足1、2、3、4、5基節骨 を骨折する。	28	4	11209	10~ 29
54	2017	7	15~16	当社作業場内に於いて、高速カッターで切断作業を行うため 準備中、フラット板（25t×65×3000L）を誤って落とし、左 足甲に当たり負傷したもの。	20	4	11301	1~9

55	2017	7	14~15	工場内で、3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊り、クレーンで10cm程持ち上げたところ、補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程度のL字アングルに負荷がかかり、外れて、2m程の高さから、両足に補強アングルが落下し、両足の甲を骨折した。負傷した被災者は派遣社員で、派遣先である工場内での作業中に負傷したものである。	42	4	11301	10~29
56	2017	7	9~10	レーザー作業中、作業台に置いてあるレーザーの加工材料にひっかかり、転倒してしまい右膝を負傷。	45	2	11403	1~9
57	2017	6	10~11	事業所敷地内において、鋼管を地表より40cm位の高さまで持ち上げた際、腰に激痛を覚えたものである。	52	19	11209	30~49
58	2017	6	14~15	回転台を使用してブーム材本体に裏当て材を溶接する作業をしていた。溶接後の仕上げをしている際にブーム材が滑って落下し、左足を直撃し、左足甲を骨折した。ブーム材自体も小さく、リン木を挟んで固定していたが、作業性を考えてブーム材を手前側に寄せ過ぎていたために落下してしまった。	48	4	11209	50~99
59	2017	6	3~4	店舗において、ベルトコンベア上で荷詰まりが起こり、その詰まりを解消して作業位置に戻っていたところ、床に倒れていた棒に足が引っ掛かり、右膝から転倒して負傷したものである。	32	2	40301	500~999
60	2017	6	14~15	会社工場内にて移動中、地面に置かれていた金属製のカゴに入っている鉄の棒（長さ1m程度）に靴紐を引っかけてしまい、その場で転倒した。その際、左肘を地面にぶつけてしまう。その時は特に痛みは大きくなかったが、2週間程してから、左足（特に膝）に強い痛みを感じるようになった。	49	2	11204	10~29
61	2017	6	11~12	作業台にて、クレーンで金型を降ろそうとした時、金型を吊っていた金具が外れて指を挟んだ。	37	4	11209	1~9

62	2017	6	13~ 14	第一工場内で、パンチングマシンの作業台に置いていた鉄板（厚さ2.3m、100mm×565mm、重さ1kg）20枚を両手で抱え、運んでいたところ、重さのあまりバランスを崩し、鉄板の一部が滑り落ちそうになり、慌てて両手で支えようとしたが支えきれず、鉄板約18枚が滑り落ち、その際に鉄板の角が左足先に当たり、負傷したものである。	33	4	11502	50~ 99
63	2017	6	9~ 10	重量鉄骨3階建外装工事中に、梁荷受けの建方職方が現場敷地内の土間コンクリートの上で、トラック荷台よりレッカーでG梁6本、3~4mを仮置き後、縛られたナイロンスリングを解いたところ、手前の梁が1本、右足に倒れて人差し指と中指を裂傷骨折した。	38	4	30201	1~9
64	2017	6	13~ 14	屋根折板の現場成型中、成型機から出て来た、長さ約50mm、厚さ0.6mmの屋根（下弦）材を3人で並んで成型機から出し、屋根葺き作業をしていた。10mの成型機の7m程度が通過したら、次のコイルを入れて順次成型していた。成型機からの出し作業が若干遅れ、もたつきがあり、次の材料が接近してきたため成型機側にいた人が少し前に押ししまい、反対側の人は滑り落ちると思い、咄嗟に先端に持ち替え押さえようとしてしまった際に、パテペット受けの鉄骨に右手の指を挟まれてしまい、小指を切断してしまった。	34	7	30201	1~9
65	2017	6	13~ 14	当社本社工場内、H形鋼バンドソー機付近の残材置場から、加工に使用するため残材を取り出そうとして、尚且つ、それと同時に整理も兼ねて作業をしていたところ、残材の山に体が触れてしまい、その際に体勢を崩して右腕をH鋼に強打して、骨折してしまった。	24	3	80109	30~ 49
66	2017	6	9~ 10	構内、製函作業において、手動製函機にて作業中、自動製函機への箱の補充に移動する際、ダンボールの水漏れ防止の為に敷いてあるパレットに躓き、右肘から地面に強打し、右肩	37	4	30202	1~9

				を脱臼した。				
67	2017	5	14～ 15	現場から会社の倉庫へ持ち帰った鋼管をトラックの荷台から下ろす最中、鋼管が滑ってトラック荷台ボディと鋼管に右手を挟み負傷した。当初は切傷と思い様子を見ていたが、右手小指の腫れがひどく、痛みが強くなった。	60	7	30202	10～ 29
68	2017	5	15～ 16	工場内で、溶接後のグラインダー作業中に発生した事故である。現場には、前任者が以前より壁に立て掛けていた鋼材があり、長い年月積み重なった不安定な状態であったが、時間に追われた作業のため鋼材を全て整理できないまま、作業を続けなければならなかった。一人での作業のため災害発生時に助けを呼べず、鋼材が倒れて作業台と鋼材（鋼材の重量は100kg以上）に15～30分程度右腕を挟まれていた。	42	5	11409	10～ 29
69	2017	5	13～ 14	被災者は、床上操作式門型クレーンを用い、仮置きしていた桁材の移動作業を行っていたところ、玉掛け作業を行う為、吊具のクランプ方向を見ながら近づいて行った際、足元桁材の隙間（50cm）に足を踏み外し、1.6m下の地面に転落し、左大腿骨を骨折した。	58	1	50101	1～9
70	2017	5	15～ 16	工場1階でアルミ表面処理ラインのロードストック架台を組立中に、鉄製部材（150D×4,150W×2,440H、約350kg）をフォークリフトで起こし、立てた状態で被災者が支えていたが、鉄製部材が傾き倒れ始め、それを支えようとしたが支えきれず、鉄製部材と床面との間に顔面から胸部にかけて挟まれた。	30	5	30202	1～9
71	2017	5	11～ 12	個人宅において、外壁及び雨樋工事中、解体した単管足場を積み重ねていたところ崩れ（長さ約3m、重さ5～6kg）、左足の上に落ちて左足小指を骨折した。	22	5	30209	1～9
				工場内の加熱ライン充填場で、ステンレス製の容器付台車の蓋（1m×1.5m程の大きさ、約4kg）を清掃中に手が滑り、30				500

78	2017	4	10~ 11	第1工場板金場にて、L型鋼材（22本、長さ6m）を専用台車を用いて搬送していた（3人の共同作業）。その際、鋼材置場の入口が狭いため台車の切り返しを行った時に鋼材が専用台車の片側に寄り、台車のバランスが崩れて横転し、鋼材が作業者の両足膝下に乗り骨折した。	53	5	11502	1000 ~ 9999
79	2017	4	18~ 19	当社工場にて、バケット（総重量約2トン）の先端部を架台（高さ200mm）及び枕木（縦105×横105高さ80）を使用し、床面より440mmの高さに嵩上げた状態で溶接作業中（両膝を床面に付けた状態）に、枕木が割れ、その衝撃で、架台がバケット内に入りこみ、バケット先端部に被災者の両足大腿部が挟まれ負傷した。	38	4	11301	50~ 99
80	2017	4	9~ 10	会社工場内の製品置き場において整理整頓作業中、出荷用に積んであったH鋼の製品が目に入らず、そこに製品がないものと勘違いして前に進み出たとき、H鋼の角の部分で右胸を強打して負傷した。当初は痛みをこらえて早退し自宅療養していたが、痛みがひどくなった。	65	3	11204	30~ 49
81	2017	4	18~ 19	資材置場新設工事の現場において、地面に置いた単管パイプを取ろうとした際に誤って単管パイプを踏んでしまい、転倒したときに左膝を強く打ちつけた。	30	2	30209	1~9
82	2017	4	16~ 17	清掃作業中、側溝の鉄格子（40kg）を取り外している際、本人の足の上に落としてしまい、左足親指を骨折した。	50	4	170101	50~ 99
83	2017	3	14~15	工場G棟の鋼板棚にて、斜めに立てかけてあった t16×1500×2000の鋼板を、イーグルクランプで挟み吊り上げようとしたところ、その板の前に不安定に立てかけてあった約170kgの鋼板（t22×640×1500）が動き、左足に倒れ掛かったため右手で支えようとしたが支えきれず、地面との間に左足を挟まれ、足首を骨折した。	57	5	11301	100 ~ 299
				当社作業場にて、船からの揚荷を船内作業中に、オープンコ				

84	2017	3	13~14	アンテナ（2400×600×1500）にフックを掛けて、荷物（角パイプ）を足場にして下りようとして地上に足をつけた時、下に敷き詰めてあった平鋼で足を滑らせて転倒し、右手で支えようとして右手を強打し捻挫した。	37	2	50201	10~29
85	2017	3	16~17	工場1階フロアにおいて、品物をクレーンで移動させようとした際、品物をフックにかけるため挟もうとしていたが、クラブごとはずれてしまい足元に落ち、左足を負傷した。	50	4	11209	1~9
86	2017	3	7~8	土間コンクリート解体工事に着手する為、被災者は車庫にて0.15?級バックホウに取り付けるコンクリート解体用ブレーカーアタッチメント（100kg）を2tダンプトラックに積み込む作業をしていたとき、吊荷が荷台床より低い位置にあったため、ブレーカーを人力で持ち上げてブレーカーの先端を荷台に乗せた際、荷台とブレーカーの間に左手薬指を挟み負傷した。	43	7	30106	1~9
87	2017	3	0~1	建築現場で、束ねた軽量材（アルミ数本、棒状）を持ち上げて上の階へ上げる際、結束バンドがはずれて軽量材が顔にあたり受傷した。	29	3	30209	1~9
88	2017	3	20~21	試し用材料をプレスするため隣に移動させようと向かい合い2人で上げようとしたところ、腰を痛めた。当初はあまり痛くなかったため通常どおり仕事をしたが、夜に痛みが出てきた。	35	19	11209	10~29
89	2017	3	11~12	自社工場内でコンクリート製品用の鋼製型枠を取り外す際に、鋼製型枠の一部（幅70cm、高さ70cm、厚さ10cm）を倒して備え付けの台（高さ40cm）の上に載せる作業がある。今回はその備え付けの台の上に誤って左足を乗せて作業してしまい、倒した型枠と台の間に左足甲を挟み負傷した。	24	7	10901	30~49
				改修工事で使用するスチール足場板（長さ3600mm）をトラックの荷台に積み込み作業中、25枚重ねた足場板を荷台の				

90	2017	3	16~17	上で整えていたとき、1枚の足場板が滑り落ちてきて、それと一緒に荷台（高さ約1m）から後ろ向きに転落し、左腰部を受傷した。	67	1	30309	1~9
91	2017	2	10~11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらそうと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りになった。その際右足脛を骨折した。	63	2	30199	30~49
92	2017	2	16~17	切断製品に付着しているノロを、専用工具（カス取り）で除去作業中、取りづらいので力を入れて自分の方向に工具を向けた状態でノロを除去しようとした際にノロが浮いた状態となり、細くとがった先端が左手にはめていた皮手袋を突き破って刺さった。	25	7	11209	50~99
93	2017	2	14~15	当社倉庫前で、単管足場の組立部材の片付作業中、軽トラックの荷台からバケツに入れたクランプを降ろす時にジャッキベース（長さ60cm、幅4cm、重さ5kg位）がバケツに引っ掛かり落下し、左足に当たった。ひどく痛んだが、出血は無かったので当日は帰宅し湿布薬を貼付した。翌日は自宅で休養した。翌々日に病院へ行ったところ、左足小指の第一関節から指先部分で完全に骨折していた。	67	4	30309	1~9
94	2017	2	14~15	立杭下部より地上部へH鋼をクレーンにて吊り上げ、トラック荷台に仮置きした際、H鋼に溶接止めしていた部材（溝型鋼）が外れ立杭下部に落下し、立杭下部で作業を再開していた被災者に当たり負傷した。	45	4	30102	1~9
95	2017	2	16~17	第一工場のガス切り場で、酸素解体作業をしている時、円柱のタンク（高さ2m、重量500kg）を半分に切ったところ、切った部分が転がってぶつかってしまい、骨盤を座骨骨折し	30	6	11009	10~29

				た。				
96	2017	2	17~18	当事業場内の作業場において翌日配送分の荷物をトラック（2t）の荷台に積み込む作業を行っていた際、玄関ドア（幅約930mm×厚さ約60mm×高さ約2330mm、重さ約50kg）を1人で持ち、積み込んでいた時、持ち手を変えようとしたためにバランスを崩してしまい、支えようと急に動いた時に、右足を着くところを誤りひねってしまい、右足関節靭帯損傷となってしまったものである。	38	19	80209	—
97	2017	2	3~4	配達物の区分処理をしている際に、パレットに荷物を積んで扉を閉める際に右手中指を扉に挟んだ。	46	7	110101	500 ~ 999
98	2017	2	18~19	事業主の資材置場より、鉄スクラップをトラックで運搬している途中、サイドミラー越しに、荷台から鉄スクラップがはみ出ていることに気付いた。場所は公園運動場近くで、道路が駐車禁止ではないことを確認の上、その道路上でトラック荷台にのぼり、鉄スクラップを荷直ししている際、その鋭利な部分に触れ、右手を負傷した。	46	8	150103	1~9
99	2017	2	10~11	災害当日、被災者は木材パレットの解体作業中、解体した木材を一旦解体した木材を後ろに置いて作業していた。新たにパレットを解体していた時に、テコを利用して勢いがついてしまい後に仰け反った際、木材に刺さっている釘を左足かかとで踏んでしまった。	29	9	170101	100 ~ 299
100	2017	1	15~16	工場南棟の大型旋盤で舵の部品のラダーストック（鋼材）を旋削加工中、操作確認の為、操作盤のモニターに目をうつした為に加工作から削り出された切り屑が伸びてきている事に気付かず、長い切り屑が左肘に当たり裂創を負った。	39	8	11209	10~ 29

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。